キャラクター名	プレイヤー名
ツグミ	

ポジション	オートマトン	享年	16
メインクラス	バロック	暗示	渇望
サブクラス	ステーシー	寵愛点	0

初期配置	煉獄
最大行動値	10

能力値	クラス	修正	合計
武装	1	0	1
変異	3	0	3
改造	0	1	1

記憶のカケラ	内容
令嬢	最果40α
神託	最果24β
双子	自分とシーリは双子だった。二人は、とある財閥の跡取りとして生まれた。しかし私はとても体が弱く、いつも学校では保健室で生活をする日々。だから、財閥を継ぐのはシーリの方だと思っていた。心配があるとしたら、大学のことだった。私達4人は日頃から仲が良く、一緒に大学に行く計画を立てていた。でもシーリはあまり勉学が得意ではなく、一人だけ落ちるのではないかと思っていた。
恋人	自然だった。保健室には若い男性の先生がいた。先生の名前は[illegible]といった。自分は、毎日保健室で暮らしていた。だから当然、毎日その先生と一緒の時間を過ごしていた。…そしていつの間にか、お互いに好きになっていた。学校に行って、そのまま保健室に行って、そして人目を盗んでは先生と保健室のベッドの上で身体を重ねる。そんな毎日を送っていた。そういえば、体を重ねている最中に、保健室にシーリが入ってきたことがあった。その時は、ベッドの周りにあるカーテンを挟んで、先生と繋がったままシーリと話をした。…なんだか、とてもいけないことをしているような気分[illegible]になった。
死	その日も、いつものように朝から保健室に行き、いつものように先生と身体を重ねていた。季節は秋。もう少しで、卒業の季節がやってくる。「このままずっと、高校生のままだったらよかったのに」と、つい呟いた。「ずっと高校生でいるか？ それもいいだろう」先生はそう言って、私の首に手をまわして、そしてきつくきつく締めあげ、ナイフで首を突き刺した。

未練				
対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
シーリ	嫌悪	3	①②③④⑤	
ニハル	執着	3	①②③④⑤	
リナリー	友情	3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	

マニューバ							
タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		援護		オート	参照	0-1	1ターンに1回、他の姉妹が「アクション」マニューバ宣言時、合意の上で自身の行動値を1減らす代わりに対象のマニューバのコストを0にする
メインクラス		結晶化		ダメージ	1	自身	受けたダメージに付属した、『切断』『爆発』『移動』は全て無効化される　1ターンに何度でも使用可能
メインクラス		再生		ダメージ	1	自身	防御1　1ターンに何度でも使用可能(同じダメージに複数回使えない)
サブクラス		庇う		ダメージ	0	0-1	対象が受けるダメージを、代わりに自身が受ける　1ターンに何度でも使用可能
頭		のうみそ		オート	なし	自身	最大行動値+2
頭		めだま		オート	なし	自身	最大行動値+1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃1
頭		カンフー		オート	なし	自身	最大行動値+1
頭		リボン(かわいい衣装)		オート			たからもの
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援1
腕		かた		アクション	4	自身	移動1
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ1つのコスト-1
胴		はらわた		オート	なし	自身	なし
胴		はらわた		オート	なし	自身	なし
胴		つぎはぎ		オート	なし	自身	バトルパート終了時、このパーツと損傷した基本パーツ1つ修復してよい
胴		硬毛(うろこ)		ダメージ	1	自身	防御2
胴		やぶれひまく		ダメージ	0	自身	防御2
胴		アーマースキン		ダメージ	0	自身	防御1
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害 1